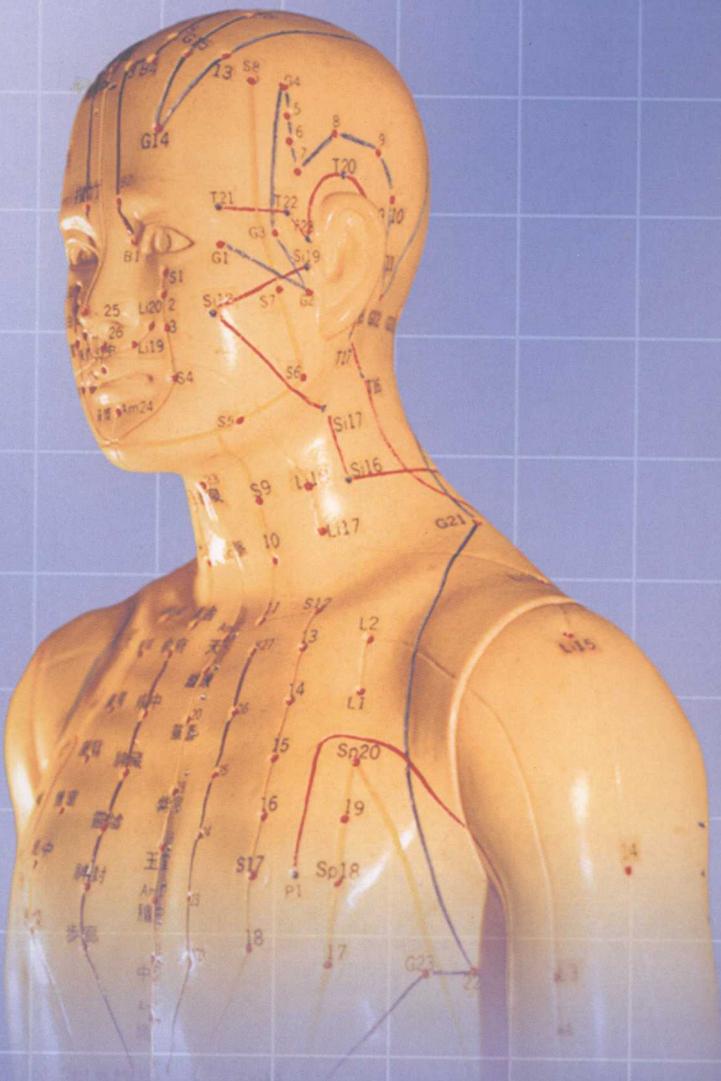


けいけつがく 経穴学

任路主编



辽海出版社

けい けつ がく
經 穴 學

任路 主编

辽海出版社

© 任 路 2007

图书在版编目 (CIP) 数据

经穴学 / 任路主编. —沈阳：辽海出版社，2007.4

ISBN 978-7-80711-824-4

I .经... II .任... III .经穴学 IV .R224.1

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2007) 第 051225

责任编辑：于文海 陈晓玉

封面设计：浩 天

版式设计：丁 凡

责任校对：文 玉

出 版 者：辽海出版社

地址：沈阳市和平区十一纬路 25 号

邮 编：110003

电 话：024-23284381

E-mail：dszbs@mail.lnpgc.com.cn

<http://www.lhph.com.cn>

印 刷 者：沈阳新华印刷厂

发 行 者：辽海出版社

幅面尺寸：210×285mm

印 张：10.375

字 数：289 千字

出版时间：2007 年 4 月 1 版

印刷时间：2007 年 4 月第 1 次印刷

定 价：21.00 元

编 委 会

主 編：任 路

副主編：朱爱松 王淑娟 馬鉄明

協 編：于 紅 馬鉄明 王曉伯 王淑娟

白 丽 任 路 李海权 朱爱松

张海萍 赵桂林

目 次

第一章 経穴学の概論	1
第一節 経穴の起源と発展	1
一 経穴の概念の形成.....	1
二 経穴学の発展.....	2
第二節 経穴と陰陽五行・臓腑経絡の関係	3
一 経穴と陰陽五行の関係.....	3
二 経穴と臓腑、経絡の関係.....	3
第三節 経穴の命名	4
一 自然類.....	4
二 物事類.....	4
三 人体類.....	5
第四節 経穴の分類	5
一 阿是穴	5
二 十四經穴.....	6
三 経外奇穴.....	6
四 耳穴.....	7
第五節 経穴の作用	7
一 気血を輸注すること.....	7
二 病症を反応すること.....	7
三 診断に協力すること.....	8
四 疾病を予防し治療すること.....	8
第六節 経穴の主治規律	8
一 「経穴の在処、主治の在処なり」	9
二 「経絡の通ずるところ、主治の及ぶ所なり」	9
三 特殊なきまり	12
第七節 特定穴	12
一 五輸穴.....	12
二 原穴.....	13
三 絡穴.....	14
四 背俞穴.....	14
五 募穴.....	15
六 郢穴.....	15
七 八会穴.....	16

八 下合穴	17
九 八脈交会穴	17
十 交会穴	18
第八節 穴位特異性の研究	19
一 穴位の形態と構造の特異性	19
二 穴位の生物物理学的特異性	20
三 穴位の病理反応の特異性	20
四 経穴の刺激反応の特異性	21
第九節 経穴の定位方法	22
一 体表解剖標識法	23
二 骨度折量寸法	24
三 同身寸法（標準寸法）	26
第二章 任脈と督脈の経穴	28
第一節 任脈の経穴 RN	28
1. 会陰 RN1	28
2. 曲骨 RN2	28
3. 中極 RN3 膀胱の募穴	29
4. 関元 RN4 小腸の募穴	29
5. 石門 RN5 三焦の募穴	30
6. 気海 RN6 肾の原	30
7. 陰交 RN7	30
8. 神闕 RN8	31
9. 水分 RN9	31
10. 下脘 RN10	31
11. 建里 RN11	32
12. 中脘 RN12 胃の募穴、八会穴の一つ——腑会穴	32
13. 上脘 RN13	32
14. 巨闕 RN14	33
15. 鳩尾 RN15 絡穴、膏の原穴	33
16. 中庭 RN16	33
17. 腹中 RN17 心包の募穴、八会穴の一つ——気の会穴	34
18. 玉堂 RN18	34
19. 紫宮 RN19	34
20. 華蓋 RN20	35
21. 琥珀 RN21	35
22. 天突 RN22	35

23. 廉泉	RN23	35
24. 承漿	RN23	36
第二節 督脈の経穴	DU	36
1. 長強	DU1	36
2. 腰俞	DU2	37
3. 腰陽関	DU3	38
4. 命門	DU4	38
5. 懸枢	DU5	38
6. 脊中	DU6	39
7. 中枢	DU7	39
8. 筋縮	DU8	39
9. 至陽	DU9	39
10. 靈台	DU10	40
11. 神道	DU11	40
12. 身柱	DU12	40
13. 陶道	DU13	41
14. 大椎	DU14	41
15. 噫門	DU15	41
16. 風府	DU16	42
17. 脳戸	DU17	42
18. 強間	DU18	43
19. 後頂	DU19	43
20. 百会	DU20	43
21. 前頂	DU21	44
22. 頤会	DU22	44
23. 上星	DU23	44
24. 神庭	DU24	45
25. 素髎	DU25	45
26. 水溝	DU26	45
27. 兑端	DU27	46
28. 齧交	DU28	46
第三章 手の三陰經の経穴		47
第一節 肺經の経穴	LU	47
1. 中府	LU 1 肺の募穴、手と足太陰の会穴	47
2. 雲門	LU 2	47
3. 天府	LU 3	48

4. 侠白	LU 4		48
5. 尺澤	LU 5	肺經の合穴	48
6. 孔最	LU 6	肺經の郄穴	49
7. 列欠	LU 7	肺經の絡穴、八脈交会穴	49
8. 経渠	LU 8	肺經の經穴	49
9. 太淵	LU 9	肺經の輸穴、原穴、八会穴の一つ——脈の会穴	50
10. 魚際	LU10	肺經の榮穴	50
11. 少商	LU11	肺經の井穴	50
第二節 心經の經穴	HT		51
1. 極泉	HT1		51
2. 青靈	HT2		51
3. 少海	HT3	心經の合穴	52
4. 靈道	HT4	心經の經穴	52
5. 通里	HT5	心經の絡穴	53
6. 陰郄	HT6	心經の郄穴	53
7. 神門	HT7	心經の原穴、輸穴	53
8. 少府	HT8	心經の榮穴	54
9. 少衝	HT9	心經の井穴	54
第三節 心包經の經穴	PC		54
1. 天池	PC1		55
2. 天泉	PC2		55
3. 曲澤	PC3	合穴	55
4. 鄰門	PC4	郄穴	56
5. 間使	PC5	經穴	56
6. 内關	PC6	絡穴、また八脈交会穴の一つで、陰維脈に通じる	56
7. 大陵	PC7	輸穴、原穴	57
8. 劳宮	PC8	榮穴	57
9. 中衝	PC9	井穴	58
第四章 手の三陽經の經穴			59
第一節 大腸經の經穴	LI		59
1. 商陽	LI 1	井穴	59
2. 二間	LI 2	榮穴	59
3. 三間	LI 3	輸穴	60
4. 合谷	LI 4	原穴	60
5. 陽溪	LI 5	經穴	61
6. 偏歷	LI 6	絡穴	61

7. 温溜	LI 7	郄穴	61
8. 下廉	LI 8		62
9. 上廉	LI 9		62
10. 手三里	LI10		62
11. 曲池	LI11	合穴	63
12. 肘髎	LI12		63
13. 手五里	LI13		64
14. 臂臑	LI14		64
15. 肩髃	LI15		64
16. 巨骨	LI16		65
17. 天鼎	LI17		65
18. 扶突	LI18		65
19. 禾髎	LI19		65
20. 迎香	LI20		66
第二節 小腸經の経穴	SI		66
1. 少澤	SI 1	井穴	66
2. 前谷	SI2	榮穴	67
3. 後溪	SI3	輸穴、八脈交会穴の一つで、督脈に通じる	67
4. 腕骨	SI4	原穴	68
5. 陽谷	SI5	経穴	68
6. 養老	SI6	郄穴	68
7. 支正	SI7	絡穴	69
8. 小海	SI8	合穴	69
9. 肩貞	SI9		69
10. 脣俞	SI10		69
11. 天宗	SI11		70
12. 秉風	SI12		70
13. 曲垣	SI13		70
14. 肩外俞	SI14		71
15. 肩中俞	SI15		71
16. 天窓	SI16		71
17. 天容	SI17		71
18. 颧髎	SI18		72
19. 聽宮	SI19		72
第三節 三焦經の経穴	SJ		72
1. 関衝	SJ1	井穴	73

2.	液門	SJ2	榮穴	73
3.	中渚	SJ3	輪穴	74
4.	陽池	SJ4	原穴	74
5.	外関	SJ5	絡穴、八脈交会穴の一つで、陽維脈に通じる	74
6.	支溝	SJ6	經穴	75
7.	会宗	SJ7	郄穴	75
8.	三陽絡	SJ8		75
9.	四瀉	SJ9		76
10.	天井	SJ10	合穴	76
11.	清冷淵	SJ11		76
12.	消潔	SJ12		77
13.	臑會	SJ13		77
14.	肩髎	SJ14		77
15.	天髎	SJ15		77
16.	天牖	SJ16		78
17.	翳風	SJ17		78
18.	瘻脈	SJ18		78
19.	顱息	SJ19		79
20.	角孫	SJ20		79
21.	耳門	SJ21		79
22.	和髎	SJ22		79
23.	絲竹空	SJ23		80
			第五章 足の三陽經の經穴	81

第一節 足の陽明胃經の經穴 ST 81

1.	承泣	ST1		81
2.	四白	ST2		81
3.	巨髎	ST3		82
4.	地倉	ST4		83
5.	大迎	ST5		83
6.	頬車	ST6		83
7.	下關	ST7		83
8.	頭維	ST8		84
9.	人迎	ST9		84
10.	水突	ST10		84
11.	氣舍	ST11		85
12.	次盆	ST12		85

13. 気戸	ST13	85
14. 庫房	ST14	85
15. 屋翳	ST15	86
16. 膽窓	ST16	86
17. 乳中	ST17	86
18. 乳根	ST18	86
19. 不容	ST19	87
20. 承満	ST20	87
21. 梁門	ST21	87
22. 関門	ST22	87
23. 太乙	ST23	88
24. 滑肉門	ST24	88
25. 天枢	ST25 大腸の募穴	88
26. 外陵	ST26	88
27. 大巨	ST27	89
28. 水道	ST28	89
29. 帰来	ST29	89
30. 気衝	ST30	90
31. 脾関	ST31	90
32. 伏兎	ST32	90
33. 陰市	ST33	90
34. 梁丘	ST34 邵穴	91
35. 獣鼻	ST35	91
36. 足三里	ST36 合穴	91
37. 上巨虚	ST37 大腸經の下合穴	92
38. 条口	ST38	92
39. 下巨虚	ST39	92
40. 豊隆	ST40	92
41. 解溪	ST41 経穴	93
42. 衝陽	ST42 原穴	93
43. 陷谷	ST43 輸穴	93
44. 内庭	ST44 栄穴	94
45. 脊児	ST45 井穴	94
第二節 足の太陽膀胱經の経穴	B L	94
1. 晴明	BL1	95
2. 攢竹	BL2	95

3. 眉衝	BL3	95
4. 曲差	BL4	96
5. 五処	BL5	96
6. 承光	BL6	96
7. 通天	BL7	97
8. 絡却	BL8	97
9. 玉枕	BL9	97
10. 天柱	BL10	97
11. 大杼	BL11	98
12. 風門	BL12	98
13. 肺俞	BL13 肺の背俞穴	98
14. 廓陰俞	BL14 心包の背俞穴	99
15. 心俞	BL15 心の背俞穴	99
16. 督俞	BL16	99
17. 脊俞	BL17 八会穴の一つ——血会	100
18. 肝俞	BL18 肝の背俞穴	100
19. 胆俞	BL19 胆の背俞穴	100
20. 脾俞	BL20 脾の背俞穴	101
21. 胃俞	BL21 胃の背俞穴	101
22. 三焦俞	BL22 三焦の背俞穴	101
23. 腎俞	BL23 腎の背俞穴	101
24. 気海俞	BL24 気海の背俞穴	102
25. 大腸俞	BL25 大腸の背俞穴	102
26. 関元俞	BL26	102
27. 小腸俞	BL27 小腸の背俞穴	103
28. 膀胱俞	BL28 膀胱の背俞穴	103
29. 中膂俞	BL29	103
30. 白環俞	BL30	103
31. 上髎	BL31	104
32. 次髎	BL32	104
33. 中髎	BL33	104
34. 下髎	BL34	105
35. 会陽	BL35	105
36. 承扶	BL36	105
37. 殷門	BL37	106
38. 浮郄	BL38	106

39.	委陽	BL39	三焦の下合穴	106	
40.	委中	B140	合穴	106	
41.	附分	BL41		107	
42.	魄戸	BL42		107	
43.	膏肓俞	BL4		107	
44.	神堂	BL44		108	
45.	諺諧	BL45		108	
46.	膈関	BL46		108	
47.	魂門	BL47		108	
48.	陽綱	BL48		109	
49.	意舍	BL49		109	
50.	胃倉	BL50		109	
51.	肓門	BL51		109	
52.	志室	BL52		110	
53.	胞肓	BL53		110	
54.	秩辺	BL54		110	
55.	合陽	BL55		110	
56.	承筋	BL56		111	
57.	承山	BL57		111	
58.	飛揚	BL58	絡穴	111	
59.	附陽	BL59	陽蹻脈の郄穴	112	
60.	崑崙	BL60	経穴	112	
61.	僕参	BL61		112	
62.	申脈	BL62	八脈交会穴——陽蹻脈の生じる所なり	113	
63.	金門	BL63	郄穴	113	
64.	京骨	BL64	原穴	113	
65.	束骨	BL65	輸穴	113	
66.	足通谷	BL66	榮穴	114	
67.	至陰	BL67	井穴	114	
第三節 足の少陽胆經の経穴				GB	114
1.	瞳子髎	GB1		115	
2.	聴会	GB2		115	
3.	上関	GB3		115	
4.	頷厭	GB4		116	
5.	懸顱	GB5		116	
6.	懸釐	GB6		117	

7.	曲鬢	GB 7	117	
8.	率谷	GB 8	117	
9.	天衝	GB 9	118	
10.	浮白	GB10	118	
11.	頭竅陰	GB11	118	
12.	完骨	GB12	118	
13.	本神	GB13	119	
14.	陽白	GB14	119	
15.	頭臨泣	GB15	119	
16.	目窓	GB16	120	
17.	正營	GB17	120	
18.	承靈	GB18	120	
19.	腦空	GB19	120	
20.	風池	GB20	121	
21.	肩井	GB21	121	
22.	淵腋	GB22	122	
23.	軀筋	GB23	122	
24.	日月	GB24	胆の募穴	122
25.	京門	GB25	腎の募穴	122
26.	帶脈	GB26	123	
27.	五枢	GB27	123	
28.	維道	GB28	123	
29.	居髎	GB29	124	
30.	環跳	GB30	124	
31.	風市	GB31	124	
32.	中讀	GB32	125	
33.	膝陽関	GB33	125	
34.	陽陵泉	GB34	合穴、八会穴の一つ——筋会	125
35.	陽交	GB35	陽維脈の郄穴	125
36.	外丘	GB36	郄穴	126
37.	光明	GB37	絡穴	126
38.	陽輔	GB38	經穴	126
39.	縣鐘	GB39	八会穴の一つ——髓穴	127
40.	丘墟	GB40	原穴	127
41.	足臨泣	GB41	輪穴、八脈交会穴の一つ——帶脈と通じる	127
42.	地五会	GB42	128	

43.	侠溪	GB43	榮穴	128
44.	足竅陰	GB44	井穴	128
第六章 足の三陰経の経穴				129
第一節 脾経の経穴				129
1.	隱白	SP1	井穴	129
2.	大都	SP2	榮穴	130
3.	太白	SP3	輸穴、原穴	130
4.	公孫	SP4	絡穴、また八脈交会穴の一つで——衝脈に通じる	131
5.	商丘	SP5	經穴	131
6.	三陰交	SP6		131
7.	漏谷	SP7		132
8.	地機	SP8	郗穴	132
9.	陰陵泉	SP9	合穴	132
10.	血海	SP10		133
11.	箕門	SP11		133
12.	衝門	SP12		133
13.	府舍	SP13		133
14.	腹結	SP14		134
15.	大横	SP15		134
16.	腹哀	SP16		134
17.	食竇	SP17		135
18.	天渓	SP18		135
19.	胸鄉	SP19		135
20.	周榮	SP20		135
21.	大包	SP21	脾の大絡	136
第二節 足の少陰腎経の経穴 KI				136
1.	涌泉	KI1	井穴	136
2.	然谷	KI2	榮穴	137
3.	太渓	KI3	輸穴、原穴	137
4.	大鐘	KI4	絡穴	138
5.	水泉	KI5	郗穴	138
6.	照海	KI6	八脈交会穴の一つで——陰 踣脈脈に通じる	138
7.	復溜	KI7	經穴	139
8.	交信	KI8	陰蹻脈の郗穴	139
9.	築賓	KI9	陰維脈の郗穴	139
10.	陰谷	KI10	合穴	140

11. 横骨	KI11	140
12. 大赫	KI12	140
13. 気穴	KI13	140
14. 四満	KI14	141
15. 中注	KI15	141
16. 育俞	KI16	141
17. 商曲	KI17	141
18. 石関	KI18	142
19. 陰都	KI19	142
20. 腹通谷	KI20	142
21. 幽門	KI21	142
22. 歩廊	KI22	143
23. 神封	KI23	143
24. 靈墟	KI24	143
25. 神藏	KI25	143
26. 或中	KI26	144
27. 餘府	KI27	144
第三節 足の厥陰肝經の経穴 LR			144
1. 大敦	LR1	井穴	145
2. 行間	LR2	榮穴	146
3. 太衝	LR3	輸穴、原穴	146
4. 中封	LR4	経穴	146
5. 龐溝	LR5	絡穴	147
6. 中都	LR6	郄穴	147
7. 膝関	LR7	147
8. 曲泉	LR8	合穴	147
9. 陰包	LR9	148
10. 足五里	LR10	148
11. 陰廉	LR11	148
12. 急脈	LR12	149
13. 章門	LR13	脾の募穴、八会穴の一つ——臓会穴	149
14. 期門	LR14	肝の募穴	149

第一章 経穴学の概論

経穴学は経穴の位置や主治効用、及びその基礎理論を研究する学科であり、鍼灸専門課でたいへん重要な地位を占めている。

経穴は生理上で人体の臓腑・経絡の気血を注入し輸出する特別な部位である。古い書籍では「孔穴」や「穴道」といったこともあった。「経」は「経脈」の意味で、「穴」は「空隙」の意味である。

『素問・氣府論』で経穴は「脈氣所発」と解釈し、『靈枢・九鍼十二原』では「経穴」は神気が出入り所で、皮肉筋骨だけではないと論じた。そのとおり、経穴は体表の一つ一つ孤立的なポイントではなく、体の深い所の組織器官と緊密に連係し、互いに輸通する特別な部位である。このような「輸通」は両方面で、内から外へと病痛を反応し、外から内へと刺激を受けて体内の病を防治する。この点から言うと、経穴は病理上で疾病を反応し、病気を治療する部位でもある。

第一節 経穴の起源と発展

一 経穴の概念の形成

経穴の知識は医療の実践からもらったものである。我らの先輩は疾病と戦う長い間で人体の表面には多くの特別なこしょがあると絶え間なく発見した。それらは疾病を反応し、治療する作用がある。それから、以上の認識に基づいて、長期間の実践を通して、ますます「経穴」という概念が出てきた。一般的に言えば、経穴の概念は大体次の四つの場合で形成されたのだと認められている：

- 【1】 どこが痛いと、どこを治療する。それは『内經』でいう如く：「痛所が経穴と為す」。
- 【2】 痛所からと遠く離れているある個所は傷つけられていたが、病痛が返って軽くなり、全快にまでなったと偶然的に発見した。
- 【3】 長期間の臨床診察で、ある圧痛点はある病気と必然的な関連があると確認した。その所を経穴とする。
- 【4】 ある部位を検査するとき、患者は痛かないどころか、快くなった。そこを治療すると症状を緩和することができる。

以上の認識がますます深くなるに従って、穴の位置や・主治などが確認され、名付けられ、さらに経脈を幹線としてシステムを確立した。